5月14日:売り優勢となり二日続落

昨日は個人投資家が大型株を中心に売ったことや、証券会社の利益確定売りに押され 二日続落となった。ホーチミン市場の VN 指数は 0.22%下落し 832.40 ポイントで引け、 二日間で 0.35%の下落となった。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.46%下落し 11.34 ポイントで引け、6 日間で計 6.12%の 上昇から下落に転じた。

両取引所で計4億3百万株の出来高があり、売買代金は8.02兆ドン(3億41百万ドル) となった。これには4.95 兆ドン相当の、マッチングによる3億33百万株の売買を含 tr.

大型株で構成する VN30 銘柄を中心に売りがかさみ、VN30 指数は 0.38%下落した。 時価総額と流動性の大きい VN30 銘柄のうち 3 分の 2 が下落し、10 銘柄が上昇した。

大きく売られた銘柄は銀行の HDB、建設会社の CTD、小売の PNJ、MWG、VRE、 保険会社の BVH などだった。 これらは 1.1~3.0%下落した。

資金は大型株から中型、小型株に向かい、これらの指数はそれぞれ 0.36%、0.46%上 昇した。

昨日最も売られたセクターはIT、プラスチック、化学、ゴム、小売、海産物加工など で、下落幅は 0.7~1.7%だった。

反対に、証券株は上昇し、同セクターの指数は 2.1%上昇し市場の下落幅を狭めた。4 大証券であるベトキャピタル証券、ホーチミン証券(HCM)、SSI 証券(SSI)、VN ダ イレクト証券 (VND)は 1.4~3.6%の上昇となった。 大型株を中心に売買されたこと は、投資家の買い意欲の表れであり、底値と見て買う動きが活発なことから相場がしっ かりしている、とタインコン証券はデイリーレポートで述べている。

市場の上昇トレンドには楽観的に見ており、VN 指数は850-860 ポイントに向かうと期 待される、と同証券は予測している。

しかし、3月に年ぶりの660ポイントという安値を付けた後の上昇であり、どこかで 利食い売りに押されることもあると見ている。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したも のではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようにお願い申し上げます。この二 ユースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正 確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利 は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または 転送等を行わないようにお願いいたします。